

内部統制とリスクマネジメント

大学における内部統制制度、コンプライアンス、情報セキュリティ、リスクマネジメント、労務管理リスク等は、各大学でも経営環境の変化に伴い、これらの制度への取り組みは強化されているようですが、同時にいくつかの問題点が顕在化されて来ています。

もっとも特徴的なのが、多くの大学では規則や基本方針、セキュリティポリシーなどは整備されていますが、組織内で上手く運用されていないケースがあるようです。例えば、大学としては取り組むべきこと、やらなければいけないこと、ゴールの像は描かれているものの、到達プロセスが不鮮明ですし、法人内の職員全員が参加するという意識が共有化されていないためか、目的や活動自体を他人事のように認識している方も多そうです。

加えて、規則やセキュリティポリシーなどは、共通のひな型から引用されているのか、よく似た構成と内容になっています。初期段階ではこれも致し方ないのですが、第2段階に進化させていくためには、各法人が抱えている課題を常に洗い出して、目標達成に向けて改善していくことが望まれます。



今回のフォーラムでは、「内部統制制度」「コンプライアンス体制」「情報セキュリティ」「労務管理」の領域で活躍しているコンサルタントが、組織ガバナンス強化のために必要な、「すべきこと(Must)」の点検・整備を行いながら、その上に「将来やりたいこと(Will)」を重ねてみて、独自の到達プロセスを設計する。そしてそこから、「今できること(Can)」を考えていただくための内容です。

各テーマの演者はこれまで多くの大学や企業で指導にあたってきた講師陣ですので、経営層の方や、活動推進担当部署の方には、ホットで実践的な情報を提供できると思います。

(テーマ)

(講師)

(1) 大学における コーポレート・ガバナンスの注意点	茂木 和剛
(2) 大学の情報セキュリティにおける 問題点と対応策	竹下 和孝
(3) 大学がこれから取り組むべき 労務リスクと関連情報	後藤 俊彦

※詳細内容については裏面をご覧ください

対象者

国・公・私立大学、学校法人の経営幹部
内部統制推進担当、情報セキュリティ担当、
人事・労務管理担当者

日時

平成29年 **5月19日**(金)
13:15~17:00 (開場12:45~)

会場

中央大学 駿河台記念館
東京都千代田区神田駿河台3-11-5
☎ 03-3292-3111

定員

先着**50名**
定員になり次第締め切ります)

参加費

無料

申込み
問合せ

FAX:(03)5213-3422
Email: infom@ceinet.co.jp
お申込記入欄に必要事項をご記入の上
FAX,E-mailでお申し込みください。
参加票をご担当者へE-mailで発送します。

法人名	
住所 〒	
TEL :	
申込責任者名	
所属/役職	
Email (必須)	
ご参加者名① 所属/役職	
ご参加者名② 所属/役職	

「大学マネジメント C E I フォーラム2017」内容とスケジュール

12:45 開場
13:15 開講挨拶

【1】大学におけるコーポレート・ガバナンスの注意点

講師: 茂木 和剛

近年大学改革の流れの中で、大学においてもガバナンスやアカウンタビリティ等の企業の経営概念が適用されてきていますが、改めて「コーポレート・ガバナンス」の概念を大学に適用することに関しての注意点を検討します。

(講演要旨)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. コーポレート・ガバナンスとは | 4. コーポレート・ガバナンスの適用ポイント |
| 2. 大学組織の特異性 | ・内部統制の仕組みの実装 |
| 3. 大学におけるガバナンス概念 | ・マネジメントとコンプライアンス |
| | ・役割と責任の明確化とモチベーション維持策 |

【2】大学の情報セキュリティにおける問題点と対応策

講師: 竹下 和孝

民間企業、公的機関が標的になったケースが報道されますが、いずれも事後報告です。問題となる前に発見できないものでしょうか。セキュリティ対応の基本は、リスクアセスメントです。サイバー脅威に対して、「適切にリスクアセスメントなされていますか？」

(講演要旨)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 攻撃のパターンが多様化している
・標的型攻撃事例
・その他の攻撃
DOS攻撃、ゼロデイ攻撃、ブルートフォースアタック | 2. 大学、学生の質・環境の変化
・携帯を所有する世代から、スマホを所有する世代、スマホ、タブレットを使う世代
・インターネットの普及
・大学情報セキュリティベンチマークリストの活用 | 3. リスクアセスメントの実際
・どこに、リスクの高い情報、資産があるかを知る
・誰が、リスクの管理者(リスク所有者)であるか
・管理者不在の情報、資産はないか | 4. リスクを共有できる人財育成のポイント
・セキュリティ人材の育成
・育成には時間がかかる。一般ユーザーレベルを底上げする情報セキュリティ研修が必要である。 |
|--|--|---|---|

【3】大学がこれから取り組むべき労務リスクと関連情報

講師: 後藤 俊彦

働き方改革実行計画が3月28日に決定されました。「正規」、「非正規」という2つの働き方の不合理な処遇の差を埋めていき、長時間労働の是正によって、ワーク・ライフ・バランスを改善し、単位時間(マンアワー)当たりの労働生産性向上につなげようとしています。その具体的方策を検証します。

(講演要旨)

- | | | |
|-------------------------|-------------------------------|-------------------|
| 1. 同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善 | 2. 罰則付き時間外労働の上制限の導入など長時間労働の是正 | 3. 柔軟な働き方のための環境整備 |
|-------------------------|-------------------------------|-------------------|

17:00 閉講

■ 講師プロフィール

茂木 和剛

1982年 慶應義塾大学 法学部 法律学科卒業
キリンビール株式会社入社
1992年 学校法人産業能率大学 入職
2000年 朝日監査法人 ビジネスリスクコンサルティング入職
2004年 KPMG/あずさビジネススクール取締役
2007年 (株)エムズコンサルティング設立

《実績》

- 国立大学、私立大学におけるコンプライアンス体制構築支援
- 独立行政法人 内部統制制度構築支援
- 国立研究開発法人 コンプライアンス体制
- 総合商社 リスクマネジメント能力開発プログラム導入支援
- アパレル関連企業 コンプライアンス経営体制構築支援
- 内部統制、コンプライアンス研修講師

竹下 和孝

1977年 熊本大学 法文学部 法学科卒業
(株)東芝入社 システム開発に従事
1995年 東芝ヨーロッパGmbH 出向
1998年 (株)東芝にてグループ全体の経営戦略 IT戦略、IT企画を担当。個人情報保護・情報セキュリティ体制を構築
2001年 東芝退社し現在に至る

《実績》

- システム監査技術者 システムアナリスト、情報セキュリティマネジメント(経済産業省)
- CSA(公認システム監査人)
- (一財)日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)内、ISMS認定審査員(ISMS-AC)、ISMS適合性評価制度技術委員としてISO/IEC27001等の制度運営に参加
- ISMS主任審査員、審査員養成コース講師、内部監査員講師、企業派遣講師など多数

後藤 俊彦

1985年 中央大学 法学部 法律学科卒業
印刷資材会社において、総務担当者として労働保険、社会保険手続、総務、人事労務管理全般を担当。
2005年 株式会社シー・イー・アイのコンサルタントとして国立大学、私立大学、独立行政法人等の人事・労務領域の相談業務担当
特定社会保険労務士

《実績》

- 国立大学法人 20校
- 学校法人 10校
- 独立行政法人 18法人
- 公益法人 5法人
- 労務管理研修講師としての実績 多数